

平成21年3月 経営協議会議事録

I. 日 時 平成21年3月26日(木) 10時00分～12時20分

II. 場 所 千葉大学けやき会館 レセプションホール

III. 出席者 齋藤学長, 赤田, 有馬, 飯田, 伊集院, 加賀見, 黒木, 西村,
山本, 北村, 野波, 安田, 福島, 田村, 菊池, 河野各委員
(欠席: 井上, 桜田, 竹山, 茂木, 堀各委員)

議事に先立ち, 学長から挨拶があった。

IV. 前回経営協議会議事録について
原案のとおり承認された。

V. 審議事項 (○外部委員, ◎学内委員)

1. 平成21年度計画(案)について

学長から, 平成21年度計画(案)について審議願いたい旨提案があった後,
山本理事から資料に基づき説明し, 以下の質疑応答があり, 審議の結果, 了承
された。

○海外留学や帰国子女の受け入れ状況はどうか。

◎学部学生を対象に, 海外派遣留学及び海外語学研修派遣の充実を図りたい。
海外語学研修プログラム修了後は一定条件のもとに単位として認定している。
この他英語教育に関しては, TOEIC IP の受験を義務化し英語力の診断や学習
目標の設定に活用しているが, 学部により平均得点に差がある。また, 多様
な選抜方法により, 複数の学部で帰国子女を受入れているが, 各大学の入試
時期等が異なるため, 条件の良い他の大学を希望し辞退する学生もいる。

○附属病院における, 現在の平均在院日数はどの程度か。

◎現在の平均在院日数は17日程度であり, 当初計画の「21日以内」は達成
している。

○医療面における地域との連携・協力に関する具体的な事業は何か。

◎附属病院の県内でのがん診断連携拠点病院や医学部における地域等の医師不
足に対応する「緊急医師確保対策」に関する取組み, また薬学部では薬剤師
の生涯教育の一環である「卒後教育研究講座」を開催するなどしている。

○「留学生30万人計画」への対応は, 大学として戦略的に取組み, 早期にア
ピールした方がよい。

◎現在「グローバル30」申請に向けていろいろと準備をしている。留学生は
大学院生を中心にし, 学生の質を確保したうえで受け入れていきたい。

○FDの実施では, 授業自体を学生から評価されることにより, 双方で緊張感
を持ち授業の質を向上させることが必要であるが, モデル講義の目的は何か。

◎FDは, 現在各大学で試行的に実施しているのが現状である。本学では, 教

育の質の向上を目標として、ベストティーチャーとして選ばれた教員による双方向の授業や学生からのコメントを活用した授業などをモデル講義として実施し、他の教員が参考にするようにしている。

2. 平成21年度学内予算配分（案）について

学長から、平成21年度学内予算配分（案）について審議願いたい旨提案があった後、福島理事、野波理事及び北村理事から資料に基づき説明し、以下の質疑応答があり、審議の結果、了承された。

- 留学生が本国に帰国しても大学としてフォローアップをし、コミュニティー作りを支援して各所にオフィスのような機能を持った組織ができれば、グローバルネットワークとして発展させることができる。
- ◎当該機能を持った組織は、現在中国にある校友会のみであるが、「グローバル30」の事業計画では、海外拠点として3ヵ所程度を形成する計画である。
- 政府予算（案）において、特別教育研究経費の大幅な増額の理由は何か。
- ◎特殊要因経費に計上されていた政策課題対応経費による支援事業の一部が、平成21年度予算では当該経費区分で計上されるようになったこと等による。

3. 千葉大学学則の一部改正（案）について

学長から、千葉大学学則の一部改正（案）について審議願いたい旨提案があった後、北村理事から資料に基づき説明し、以下の質疑応答があり、審議の結果、了承された。

- 工学部の学科数が多い。募集段階から学科別にするより、最初は“間口”を大きくして、入学してから専門の各学科に所属させる方が、工学系の志願者が減少している状況下にあってもメリットがあるのではないかと。教員の所属する研究組織と教育課程を分ける方策もある。
- ◎ご意見とは逆の方向であるが、平成20年度から工学部は6学科等から10学科に改組した。学科名を分かりやすくし、専門の目的意識の向上を促すなどを目的としている。また、教員は大学院に所属し、学部教育を兼務することとなっている。

4. 国立大学法人千葉大学職員給与規程等の一部改正（案）について

学長から、平成20年4月1日（遡及）給与改正及び本年4月1日付け改正の就業規則のうち、職員給与規程、職員退職手当規程、非常勤職員就業規則及び医員等就業規則の改正並びに年俸制職員給与規程の制定について審議願いたい旨提案があった後、福島理事から資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

5. 国立大学法人千葉大学役員給与規程の一部改正（案）について

学長から、国立大学法人千葉大学役員給与規程の一部改正（案）について審議願いたい旨提案があった後、福島理事から資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

VI. 報告事項

1. 中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果（原案）について
山本理事から、中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果（原案）について資料に基づき説明があり、以下の質疑応答があった。
 - 第二期中期目標・中期計画期間における運営費交付金の算定ルールの方針等は決まっているか。
 - ◎具体的なルールは未定であり、平成22年度予算の査定時期ごろまでには確定される見込みである。

2. 第二期中期目標・中期計画（第三次案）について
山本理事から、第二期中期目標・中期計画（第三次案）について資料に基づき説明があり、以下の質疑応答があった。
 - 大学としてのベクトルはわかるが、細分化された実際の事業計画を策定する必要がある。
 - ◎各年度計画を策定し、それに基づき各部局では具現化した事業を行い、達成状況を報告させている。第二期の検討にあたっては、今回はできる限り各項目に指標等を設け、より分かり易く達成状況を把握できるようにしている。
 - 私立大学に対して、文部科学省はこのような中期目標・中期計画の策定の義務を負わせているか。
 - ◎国立大学法人のみである。
 - 法令遵守に関する目標では、学内でのホットライン的な体制整備ができているか。
 - ◎既に監査室を窓口にした学内における内部通報の仕組みを定め、コンプライアンス体制の強化に努めている。

3. 平成21年度千葉大学個別学力検査等（一般選抜）出願状況について
北村理事から、平成21年度千葉大学個別学力検査等（一般選抜）出願状況について資料に基づき報告があり、以下の意見があった。
 - 工学系の志願者が全国的に減少している傾向があり、前期日程における工学部の特定の学科の倍率が危惧される。志願者数は社会から大学を評価する指標の一つであるので、何か対策を講ずる必要がある。

4. その他
 - (1) 役員の交代について
学長から、退任する安田委員の紹介があり、安田理事から挨拶があった。

最後に、総務課長から、次回以降の経営協議会の日程については、5月から6月にかけて1回又は2回程度の開催を予定し、具体的な開催日時は後日調整したい旨説明があった。

以上